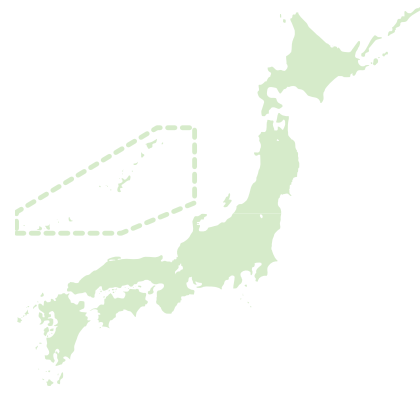


令和元年度 「言語聴覚の日」イベント報告



岐阜県

岐阜県言語聴覚士会は令和元年11月4日に、岐阜市が開催する「第40回ぎふ市民健康まつり」に参画しました。毎年恒例行事として、市民の皆様コミュニケーション、認知、聴覚、嚥下機能を良好に保つこと、および言語聴覚士の仕事への見識を深めていただくことを目的としており、今年で参加12年目となります。

今年は岐阜市周辺の病院や施設等で働くSTの先生方以外に、東海学院大学言語聴覚学専攻の学生4名にも協力いただき、総勢12名のスタッフで参加しました。

スタッフはピンクのTシャツを着用し、「簡易聴力測定」、「脳年齢チェック」、「飲み込みチェック」、「ことば、聴こえ、飲み込みの相談」、の4つのコーナーを開設し、来場された皆様に対応させて頂きました。

また今年は40回記念大会として、参加している各団体から高齢者の健康につながるテーマでミニレクチャーを行う事となり、言語聴覚士会としても「飲み込みについての話と体操」と題して来場された皆様に対し、嚥下と嚥下体操についての講演も行いました。

当日は会場全体で16,904名の方が来場され当ブースには573名の利用がありました。昨年と比較して当ブースへの来場者が182名増加し、特に「飲み込みのチェックをしてほしい」と希望される方が増加しており市民の方々の誤嚥性肺炎への意識の高まりを感じました。

今後もこの活動を継続し言語聴覚士の認知度向上に繋げていきたいと考えております。

岐阜県言語聴覚士会 池戸 智彦

